

●中央区予防生活援助サービス従事者研修（10時間）

	科目	時間数	目的	内容	学習目標（含むべき事項など）
1	福祉サービスの制度と基本理念	3 時間	介護保険制度を中心とした福祉サービスの制度を知り、生活支援に携わる者としての基本的な視点や考え方を理解する。	①職務の理解	○法律に基づく介護の仕事を正しく理解し、生活支援の中で行って良いこと、できないことを正しく理解する。 また、関連する多様なサービスを知る。 ○介護の専門性と職業倫理について理解し、さまざまな介護に関わる職種との連携があることを知る。
				②介護における尊厳の保持・自立支援	○利用者の人権や尊厳を尊重すること、個人情報の保護について理解し、利用者の立場に立った支援の基本姿勢を学ぶ。 ○支援を必要としている人の個別性を理解し、支援をおこない過ぎることなく、その人の生活を支える視点から支援することを学ぶ。
				③介護・福祉サービス制度の理解	○介護保険制度を中心とした福祉サービス制度の目的と概要を理解する。
2	介護におけるコミュニケーション技術	2 時間	コミュニケーションの意義・目的、必要性を理解し、生活支援サービス利用者とのコミュニケーション技術を学ぶ。	①介護におけるコミュニケーション	○コミュニケーションの意義、目的、役割を理解し、コミュニケーションの基礎知識を身につける（傾聴、受容、共感、共感と同情の違いなど）。
				②介護におけるコミュニケーションの実際	○利用者に応じたコミュニケーションや、家族の心理を理解した上での適切なコミュニケーション方法と訪問時の接遇マナーを身につける。
3	老化に伴うこころとからだの理解	2 時間	加齢・老化に伴う生理的変化や心身の変化・特徴、主な疾病などについて理解する。 またこれらの変化を受容し、豊かな社会生活を営んでいることを学ぶ。	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	○老年期の発達の特徴を学び、老化による身体の変化と、心理を理解する。
				②高齢者と健康	○高齢者に多い病気や症状を学び、生活上の留意点を理解することで、支援していく上での基礎知識を身につける。
				③介護に関するこころのしくみの基礎的理解	○人間としてのこころのあり方を学び、高齢者が生きがいや意欲を持つことの意義を理解する。
4	安全の確保と生活支援技術	3 時間	利用者が住み慣れた地域や居住環境で豊かに暮らすために必要となる生活支援サービスに関わる知識・技術を習得する。	①介護における安全の確保とリスクマネジメント	○予防生活援助サービスのサービスを安全に提供するための、事故防止や緊急時やトラブルへの対応、感染症予防について学ぶ。
				②介護職の安全	○予防生活援助サービスの担い手自身の健康が重要であることを理解し、腰痛やストレス等に対する心身の健康管理の方法を学ぶ。
				③生活と支援技術	○暮らしを支える生活援助の必要性を理解し、現場で遭遇することの多いトラブル例から具体的・実践的な支援方法を学ぶ。

合計 10 時間